

Capture Module CAN COMBO



Capture Module CAN Comboは従来のCANバスをはじめCAN-FD、FlexRayおよびRS-232の機器間のトラフィックをキャプチャしてギガビット・イーサネット（RJ-45）ポートへ送信します。

トラフィックはネットワークに干渉することなくキャプチャされ、精度40nsのタイムスタンプ付きで送信されます。

この Capture Module CAN Comboや他のキャプチャ・モジュール（CAN、CAN FD、LIN、100BASE-T1、1000BASE-T1などに対応）を接続して使用する事で、異なるライン、ネットワーク上のパケットを同期して解析することが可能になります。

特徴

- ✓ 3リンク CAN / CAN-FD (6ポート)
- ✓ FlexRay (1ポート)
- ✓ RS-232/TTL (2ポート)
- ✓ ギガビット・イーサネット RJ-45 (1ポート)
- ✓ ウェブサーバー経由で簡単に設定可能
- ✓ 802.1ASによるネットワーク時間同期
- ✓ 複数のキャプチャ・モジュールとの同期可能
- ✓ 精度40nsのタイムスタンプ
- ✓ 出力のトラフィックシェーピング
- ✓ TECMP対応
- ✓ 電源: 12/24 VDC (8 ~ 30 VDC)
- ✓ 頑丈なスチールケース
- ✓ サイズ: 129 x 134 x 32 mm

6x
CAN/CAN FD



1x
FlexRay



2x
RS232 / TTL



1x
スタンダード・ギガビット・
イーサネット(RJ-45)



1x
システムコネクタ



Delivery Scope

*本体・ケーブルセットは別売りです

CM CAN Combo本体



MQSカバープラグ / MQSソケット
各1個



100BASE-T1ケーブル x6
(両側端子付き)



イーサネットケーブル x1



バナナソケット 赤/黒
バナナピン x2



電源用ツイストペアケーブル x1
(赤/黒、片側端子付き)



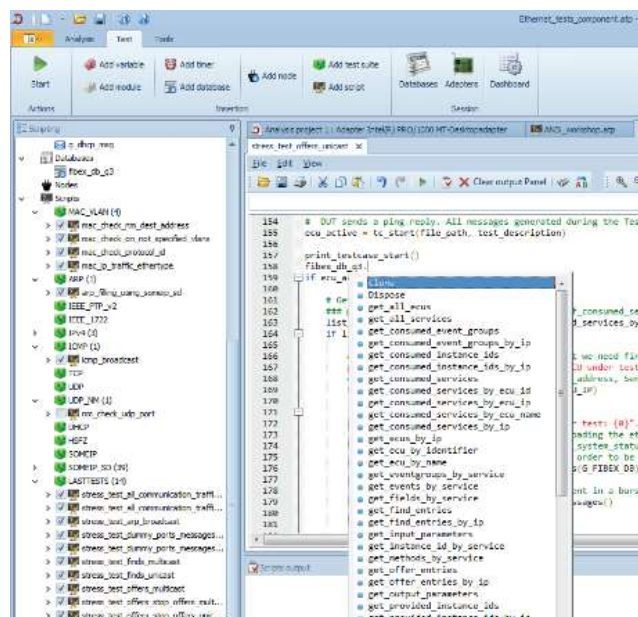
ANDiソフトウェアのご紹介

100Base-T1および1000Base-T1を搭載したシステムのテスト、シミュレーションソフトウェアです。

ANDi (Automotive Network Diagnoser) は、100Base-T1および1000Base-T1、CAN/CAN-FDを搭載したECUのテスト、およびシミュレーションソフトウェアです。

トラフィックのログおよび解析、イーサネットやCANの送受信、レスト・バス・シミュレーション (RBS) などの機能を持っています。全てのイーサネット・プロトコル、およびSOME/IP、SOME/IP-SD (サービス・ディスカバリー) に対応し、Pythonスクリプトにより柔軟な処理が可能です。

その他、トラフィック・ビューアー、トラフィック・ジェネレータ、バースト送信、Pcapレコーダー、PcapファイルのIP/MAC変換などのツールも用意されています。



オーダー情報

製品名	型番
Capture Module 1000 High	・本体 TE-1176 / ケーブルセット KS-1176
Capture Module 100 High	・本体 TE-1173 / ケーブルセット KS-1173
Capture Module Eth Combo	・本体 TE-1175 / ケーブルセット KS-1175
Capture Module CAN Combo	・本体 TE-1171 / ケーブルセット KS-1171
Capture Module LIN Combo	・本体 TE-1170 / ケーブルセット KS-1170
ANDi Premium	・TE-1170 / アルミニウムUSBドングル TE-1715

この他メディア変換器、スイッチ製品の情報は弊社ウェブサイトにてご覧いただけます。

<https://www.gailogic.co.jp/ae/te/>



製品のお問い合わせ先

日本正規代理店: ガイロジック株式会社
〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町 2-5-11 松栄ビル5階
Tel 0422-26-8211 Fax 0422-26-8212
www.gailogic.co.jp
te@gailogic.co.jp